

DAKAR
RALLY
2023
REPORT

TEAM LAND CRUISER

TOYOTA AUTO BODY



新型ラリー車 初投入となった2023年大会。 未開の荒野、地平線まで続く大砂丘群という 過酷な舞台がチームを待ち受けた



アフリカで冒険の旅として始まった「ダカールラリー」。その舞台は南米、そして中東サウジアラビアへと移ったが、「世界で最も過酷なラリー」という本質は変わらない。このダカールラリーに30年近く参戦を続けているのがランドクルーザーの開発・生産を担うトヨタ車体のラリーチーム「TLC」(チームランドクルーザー・トヨタオートボデー)だ。

TLCは12月31日〜1月15日にかけて中東サウジアラビアで行われた2023年大会にトヨタ・ランドクルーザー300 GR SPORTをベースとするラリー仕様車を初投入した。成績は250号車のロナルド・バソ／ジャン・ミッシェル・ポラト組が4輪部門総合107位で市販車部門1位、246号車の三浦昂(トヨタ車体社員)／ローラン・リシントロイシター組も総合108位、部門2位で続き、TLCはランクル3000のデビュー戦で市販車部門10連覇をワン・ツーフイニッシュで飾った。

今大会はアラビア半島の西岸、紅海沿いのヤンブー近郊の「シーキャン」を元日にスタート。前半戦は北部の山間地を巡って9日に中部の首都リヤドで中間休息日を迎え、後半戦は南部の

ルブアルハリ砂漠へ。その後北上して15日に東岸、ヘルシャ湾に面したダンマムにゴールする15日間全14ステージで行われた。悪天候による変更もあったが、全行程8,902kmのうち競技区間4,317kmと、2020年にサウジアラビアへ舞台を移して以来、最長の大会となった。

第1ステージ、246号車が終盤の砂丘で転倒。選手らは無事だったが、車両を引き起こすのに時間を要し、ステージの最大通過規定時間を超過。246号車はタイムロスに加えて、ヘナ



ルティも加算され、大幅に出遅れる結果となり、250号車が市販車部門の首位に立った。翌第2ステージでは、250号車にステアリング系のトラブルが発生。また、第5ステージでは246号車がターボ系のトラブルでコース上にストップ。サポートトラックの牽引により何とかピバークに戻るも、ティリタイア(※)を喫するなど、トラブルが連続した。しかし、メカニック陣は雨天の中、氷点下近くまで気温が下がる厳しい環境下においても連日

の徹夜作業を乗り越え、2台をリタイアさせることなく、日々のスタートに送り出していた。そして、TLCは市販車部門のワン・ツー態勢を堅持して前半戦を折り返した。



後半戦の山場は、何も無い大地を意味する通称エンフティクオーター、「ルブアルハリ砂漠」での4つのステージ。雨天に苦しめられた前半戦とは対照的に、乾いた柔らかい砂が行く手を阻んだ。高低差のある砂丘越えのルートは、砂の柔らかさも相まって過去にない難しいものとなり、多くの選手らが苦しめられた。TLCの2台は互いにフォローし合いながら果敢に挑んだが、再び250号車をトラブルが襲う。冷却系やステアリング系統のトラブル等を抱え、苦しい展開が続いた。選手らはコース上で修復し、ステージをクリ

アしていくも、ゴール前日の第13ステージにターボ系の不具合でストップ。無念のデイリタイア(※)となった。サポートトラックの牽引により、ピバークに着いたのは夜半となったが、依然部門首位をキープしている250号車をなんとか完走させようとメカニックからサポートメン

バまでが繰り出で作業に取り掛かり、車両は翌朝の最終ステージ出走時間までに修復された。15日、246号車と揃ってダンマムに無事到着した250号車はゴールポテウムで市販車部門優勝の表彰を受け、長く厳しい2023年のダカールラリーは幕を閉じた。新型車両のデビューウインという目標を達成したTLCだが、クリアすべき課題や問題点も明らかに。ゴールの達成感とともに口惜しさを噛みしめながら、チームは早速、次大会に向けてもつというラリー車づくりに取り掛かった。

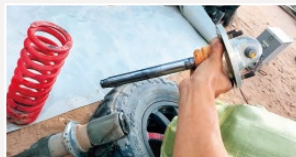
(※) 規定によりその日の競技区間で離脱した場合、ヘナリタイアを加算された上で翌以降の競技を進行することが出来る

ラリーレポートの
もっと詳しい
情報はこちら



Morocco Rally

ランクル300初の実戦テストとして10月1日から6日にかけてモロッコで開催されたモロッコラリーに2台体制で出場した。目的はラリー車開発の最終段階として、仕上がりを競技の場で確認すること。信頼性を確かめるべく、1台は同ラリー直前に2,000kmにわたってテスト走行した車両がそのまま使われた。2台のラリー車にはダカールラリーで起用するドライバー/ナビゲーターが同じ体制で乗り込み、市販車部門にエントリー。ダカールラリーと同じFIA規定の車検を受けるなど、本番のシミュレーションも盛り込まれた。競技中は毎日フルアタックを続けて車両に大きな負荷を掛け、課題が出たら対策することの繰り返し。メカニック陣も連日深夜までの作業でチームの精神的負担は本番並みとなったが、チームの結束も強まる結果となった。



ランドクルーザー300
ダカールラリー初投入へ パート3



The New Beginning

ダカールラリー2023での初投入を目指してTLCは本拠地フランスでランドクルーザー300をベースとするラリー車開発をスタートした。2021年に14年ぶりのフルモデルチェンジで登場したランクル300の開発にはTLCのダカールラリーでの経験が活かされている。中でもラリー車のベースとなるGR SPORTは本格オフロードを走破するためにTLCからのフィードバックがより濃く反映されたモデルだ。従来のラリー車開発は市販車をベースに規則内でラリー車に仕立てていたが、ランクル300のラリー車開発には、市販車の良さを最大限活かす手法、考え方を導入した。ともあれ開発は始まったばかり。テストを重ねる過程で必要な強化ポイントも見えてくるはずと、チームはベース車両の素性の良さに手こたえを感じていた。



ランドクルーザー300
ダカールラリー初投入へ パート1



ランクル300ダカールラリー投入までの道のり

二次元バーコードを読み込むと、記事の内容を動画で見ることができます。

Ready To GO

そしてダカールラリー2023に出場する本番車が完成。11月にフランス・リヨン郊外でシイクダウンテストが行われた。市販車部門ではベースとなる市販車の性能がラリー車の性能に大きく影響する。ランドクルーザー300GR SPORTはTLCがダカールラリーで培った経験やノウハウを盛り込んで開発された車両だ。その性能をダカールラリーの舞台でいかに発揮させるかという観点で開発され、3年間の歳月にわたってトライアンドエラーを繰り返して完成したのがこのラリー車である。精悍なマットシルバー基調のカラリングを纏った2台のラリー車はこのあとラリーの開催地サウジアラビアに送られ、あとはいよいよスタートを待つばかりとなった。

ランドクルーザー300
ダカールラリー初投入へ パート4



6月、アフリカ、モロッコの砂漠地帯で本格的な開発テストを実施した。目的はダカールラリーに近い環境で耐久面を含めた必要な強化ポイント洗い出し、今後の対策を見定めること。外気温50℃、車内は60℃以上にも達する過酷な状況の中でチームは意欲的にトライアンドエラーを繰り返し、課題をひとつずつクリアしていった。ランクル300を初めて砂丘でドライブした三浦はステアリング操作に対する応答性の良さや運動性能の高さを改めて実感。次回のダカールラリーで装着するTOYOTIRES(オープンカントリーM/T-R)についても、車両に合わせたチューニングが進められた。TLCはこのテスト結果をふまえ、改良した車両で10月のモロッコラリーにテスト参戦することを決定した。



ランドクルーザー300
ダカールラリー初投入へ パート2



DUNE



TLCの新型ラリー車はランドクルーザー300 GR SPORT・ディーゼルエンジン搭載モデルの市販車部門仕様。同車の大きな特徴はベースとなる市販車の段階でTLCがダカールラリーで培ってきた知見が盛り込まれていることだ。車体の軽量化、低重心化とともに重量物を車体中央に集めることにより運動性能を向上。サスペンションストロークの伸長とスタビライザーの電子制御機構E-KDSSによって優れた路面追従性を発揮する。これらを活かすべく、ラリー車の開発では重量増に繋がる補強箇所を最小限にとどめ、E-KDSSの導入と併せて各輪2本に補強が可能なショックアブソーバーもサスペンションの動きを優先させて1本式を採用した。安全上、改造が義務付けられている部分以外は最小限の改造しか許されていない市販車部門では、ベース車両の素性がラリー車の性能に直接的に影響する。TLCのランクル300はこれまでにない高いポテンシャルを持つラリー車に仕上がった。

ラリー車両の
もっと詳しい
情報はこちら



LAND CRUISER 300 GR SPORT ダカールラリー-2023仕様
SPECIFICATIONS スペック

ベース車両型式	FJA300L
エンジン型式	F33A-FTV型
総排気量	3,345cc
全長 / 全幅 / 全高	4,965mm / 1,990mm / 1,975mm
最大出力	253kw以上 (344ps以上)
最大トルク	815N・m以上
ステアリング	ラック & ピニオン式
サスペンション	前/ ダブルウィッシュボーン式 独立懸架コイルスプリング (BOS製) 後/ トレーリングリンク車軸式コイルスプリング (BOS製)
ショックアブソーバー	ラリー専用部品 (BOS製)
ブレーキ	前後ベンチレーテッドディスク (エンドレス製・ブレーキパッドのみ)
トランスミッション	Direct Shift-10AT (電子制御10速オートマチック)*1
タイヤサイズ	285/70R17 (TOYO TIRES製・OPEN COUNTRY M/T-R)*2
ホイール	マグネシウム鍛造 17インチ×7.5J (ENKEI製)
駆動方式	4輪駆動 (フルタイム4WD)
主要装備	電動デフロック (フロント・センター・リア) E-KDSS*3

*1 車両規則に基づくラリー専用制御にて1速~8速(後進シフト付)までのマニュアルモードで操作。
*2 LC300ダカールラリー仕様車専用チューンを施すとともに、環境に優しいサステナブル素材を使用。
*3 エレクトロニック キネティック ダイナミック サスペンション システムの略称で、オンロードの走行安定性とオフロードの走破性を高次元で両立させるランクル300で世界初投入されたシステム。ラリー車両では車両規則に基づく専用マニュアル制御に変更(市販モデルのE-KDSSはオートマチック制御)

This is 300! 新型ラリー車大解剖!



カーボン製シュノーケル

前後独立ブレーキマスターシリンダー

電子ロードブック

リアショックアブソーバー (BOS)

ラゲッジルーム

ロールケージ・吸気口

グリル内の飛び石よけ金網

シート (BRIDE)

ブレーキパッド (エンドレス)

フロントショックアブソーバー (BOS)

油脂類 (MOTUL)

アンダーガード・けん引フック

タイヤ (TOYO TIRES) & ホイール (ENKEI)

消火器

燃料タンク

ボデー

道が人とクルマを強くする。

ダカールラリーで得られること、 そのすべてが未来のランクルにつながる。

2023年のダカールラリーでデビューを飾った2台のランドクルーザー300のラリー車は市販車部門1位と2位の成績を挙げ、TLCは市販車部門10連覇を達成した。だが、今大会の道のりは決して平坦ではなかった。2台のランクルには初日から断続的にトラブルやアクシデントが発生。そのたびに選手やメカニックが懸命に対処し、車両をゴールへと運んだ。トラブルの内容は様々だが、市販車部門の車両としてこれまでになく速いペースで走れるポテンシャルを備えた一方で、増大する車体への負荷に対し、ラリー車としての耐久面に熟成不足があったことは否めない。

ダカールラリーは45年間の歴史の中で初期の冒険旅行的な長距離ラリーから、速さとナビゲーションの正確さを争う純粋な競技へと姿を変えてきた。併せてコースの難易度も序々に高まり、とりわけ南米大会の終盤からは市販車部門の車両にとってはタイムを競う以前に通過することすら難しい砂丘など、パワーのある改造車部門の車両や運動性能の高い小型バギーに合わせたコース設定が目立つ状況にもはや市販車でダカールラリーを走ること自体が難しく、個人参加者の多くは市販車部門から走破性の高い小型バギーの部門へ移行した。

だが、TLCは今後も市販車部門にこだわって参戦し、過酷なステージでクルマを鍛える活動が続けていく。チームはすでに次回大会に向けてトラブル対策の検討をはじめ、不具合の内容は通常の走行では得られない貴重なデータとして市販車の開発部門と共有されている。ダカールラリーの知見を盛り込んだランクルでダカールラリーを戦い、発生したトラブルに対応してさらにランクルを改良する。モータースポーツを通じた「もっかいクルマづくり」は絶えず進んでいるのだ。



あと1時間で競技の出發。
レーシングスーツ、ヘルメットを
着用してラリーに向けて集中
(ヘルメット:アライヘルメット)



競技スタート(レーシングスーツ:PEF)



次のビバークへ移動
スタッフの移動は舗装路



競技中

競技中はスタックから脱出したり...



空気圧の調整をする場面も



出發前に車両の最終準備をする。
スペアタイヤの準備もバッチリ。
また、ラリーは時間との戦い。
耐衝撃構造、防塵・防泥構造が
搭載されている腕時計は
必須アイテム
(腕時計:カシオ計算機)

9:30

集中タイム・
出發準備

12:00

移動

14:30

ビバーク
設営

ビバークに到着したら、設営スタート

冷たい雨や風から守ってくれるラリー中の家、テント。
このテントのおかげで16日間、乗り越えられた(テント:モンベル)



ビバークの設営が終わったら早速洗濯

15:30

仮眠・洗濯
・シャワー

18:00

Mechanics & Staff



選手が帰ってくるまで
少しだけ仮眠

One Day In A DAKAR RALLY

Crew

8:30

水分補給
ボトル準備

着替え・片付け・
朝食

7:30

集中タイム・
出發準備

着替え・片付け・
朝食

6:30

車両準備
整備状況共有

着替え・片付け・
朝食

6:00

車両準備
整備状況共有

着替え・片付け・
朝食

5:30

車両準備
整備状況共有

着替え・片付け・
朝食



出發前に再度クルマを拭いて
きれいな状態で送り出す

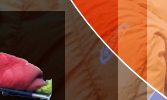


ビバークの食堂で用意される朝食。
キッシュ、ソーセージ、ワッフル、フルーツ、
ヨーグルト、パンなどが提供される

26:30

休息

休息



日本食:シマツ



夕食もビバークの食堂で用意されるものを食べますが、
食堂営業時間に間に合わないときや
日本食が恋しくなったときは
日本から持ってきたお米やカップ麺が救世主!

25:00

24:00

メカニックの必需品の工具。
それぞれ使いやすいように
カスタマイズされている
(工具:MINEZAWA)



車両整備

21:00

整備前にクルマの状態が
すぐにわかるように洗車する

ラリー車整備



ミーティング

20:00

選手ビバーク到着



チームでミーティングを行い、選手はステージでの
クルマの状況などをメカニックと共有する。
夜のビバークはとっても寒いので、
防寒具が必須(防寒具:モンベル)

ダカールラリーでは、ラリー車をバトンとして、チーム
メンバーがそれぞれのタイムスケジュールで動き、
2週間かけてクルマをゴールまで送り届ける。
刻々と変化するラリーの状況と自然環境という
過酷な生活を乗り切るためにはチーム力、そして
生活をサポートするギア類が必要不可欠である。
TLCがその過酷なラリーをどうやって戦い抜いて
いるのか、とある1日をのぞいてみよう!

4月:デモラン&トークショー@青森県
ツインプラザ八戸
ランクルフェス



12月:デモラン@大阪府

TOYO TIRES FAN MEETING
2022 KANSAI

4月:ラリー車展示@愛知県

MOTOR FUN FESTA
VEHICLE STYLE

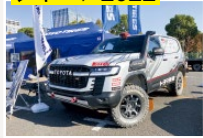


5月:トークショー@愛知県
愛知トヨタトークショー

2023年1月:トークショー@愛知県
ランクルBASE
プレオープンイベント



11月:ラリー車展示@東京都
モータースポーツ
ジャパン2022



2023年1月:ラリー車展示@千葉県
東京オートサロン
2023



7月:トークショー@愛知県
第67回おりの感謝祭
一宮七夕まつり



11月:記者発表@愛知県
ダカールラリー-2023
参戦発表会



2023年1月:ラリー車展示@愛知県
GR Garage高辻
ダカールラリー応援ウィーク



2023年2月:トークショー@北海道
旭川トヨタトークショー



7月:ラリー車展示@群馬県
群馬パーツショー2022



Let's Meet TLC!

SEASONS 2022 - 2023

1年間を通して、TLCは様々な場所で車両の開発テストやイベントを実施している。2022年度もいろいろな場所を訪れ、ランドクルーザー、モータースポーツの魅力やおもしろさを伝えたい!という思いでラリー車展示、デモンstrーションラン、選手・チームメンバーによるトークショーなどを実施。参加予定イベントについてはTLCオフィシャルウェブサイトやSNSでお知らせしているので、ぜひチェックを!

最新の
イベント情報は
こちら



8月:配信@TLC CHANNEL
THE CHALLENGERS

in Europe & Africa



6月:テスト@モロッコ
モロッコテスト



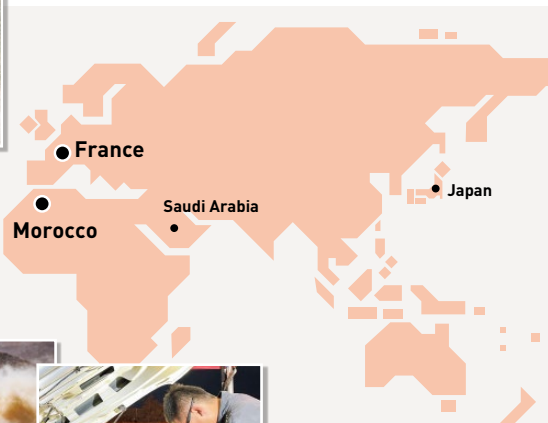
11月:テスト@フランス
シェイクダウン



9月:テスト@モロッコ
モロッコテスト



10月:ラリー@モロッコ
モロッコラリー
2022



Online



1・2月:配信@ZIP-FM Podcast
VOICE OF
DAKAR RALLY

随時:配信@ランクルちゃんねる



TLCオフィシャルInstagramでは随時ライブ配信を実施中



12月:配信@トヨタタイムズ
トヨタタイムズ放送部



より詳細な
メンバーの紹介は
こちら



ダカールラリー2023を戦ったチームメンバー

チーム代表 **本多 篤** (トヨタ車体)
ATSUSHI HONDA

チーム監督 **角谷 裕司** (トヨタ車体)
YUJI KAKUTANI

メカニック **ペドロ・アンブロシオ**
PEDRO AMBROSIO

メカニック **伊藤 勇** (福岡トヨタ自動車)
ISAMU ITO

メカニック **中武 佑太** (福岡トヨタ自動車)
YUTA NAKATAKE

TLC1号車 #246

CAR #246 DRIVER **三浦 昂** (トヨタ車体)
AKIRA MIURA

CAR #246 CO-DRIVER **ローラン・リシトロイスター**
LAURENT LICHTLEUCHTER

TLC2号車 #250

CAR #250 DRIVER **ロナルド・バソ**
RONALD BASSO

CAR #250 CO-DRIVER **ジャン・ミッシェル・ポラト**
JEAN-MICHEL POLATO

メカニック **ジェローム・デュペレ**
JEROME DUPERRET

カミオンクルー **ミッシェル・ボージョン**
MICHEL BEAUJEAN

カミオンクルー **ジルベール・デュードン**
GILBERT DIEUDONNE

メカニック **ルカ・ブロア**
LUCAS BEUROIS

カミオンクルー **ローラン・ソイエ**
LAURENT SOHIER

カミオンクルー **ジャン・ブーレー**
JEAN BOULEY

メカニック **穴見 直樹** (福岡トヨタ自動車)
NAOKI ANAMI

チーフメカニック兼
エンジニア **フィリップ・シャロワ**
PHILIPPE CHALLOY

エンジニア **メル・ディアス**
MEL DIAZ

コーディネーター **奥地 博之**
HIROYUKI OKUCHI

サポート
カミオンクルー **シルヴァン・ベナール**
SYLVAIN BESNARD

サポート
カミオンクルー **シルヴァン・ラリッシュ**
SYLVAIN LALICHE

サポート
カミオンクルー **ニコラ・ファール**
NICOLAS FALLOUX



TLC Members And Our Partners

チームメンバーを支えたパートナー企業の皆さま

トヨタ自動車株式会社
TOYO TIRE株式会社
Abdul Latif Jameel Motors
株式会社樋屋
豊田通商株式会社
トヨタ紡織株式会社
株式会社江口商店
関西ペイント株式会社
古河電気工業株式会社
共栄タイヤサービス株式会社
東海興業株式会社
矢崎総業株式会社
株式会社小糸製作所
株式会社ニッコー
豊臣機工株式会社
株式会社TDC

株式会社東海理化電機製作所
小島プレス工業株式会社
豊和化成株式会社
ウチダ株式会社
株式会社アンソー
トリニティ工業株式会社
川崎設備工業株式会社
株式会社 きんでん
林テレンプ株式会社
株式会社大林組
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
丸高株式会社
小野電気株式会社
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社トピア
新和薬品株式会社

株式会社豊田自動織機
三井住友海上火災保険株式会社
住友商事株式会社
株式会社ジェイテクト
日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社
株式会社アイシン
石原商事株式会社
中央電気工事株式会社
豊田合成株式会社
中央発條株式会社
清水建設株式会社
愛知トヨタ自動車株式会社
トヨタホーム株式会社
株式会社ジェイテクトギヤシステム
株式会社トピア
白月工業株式会社



サントリーバレッジソリューション株式会社
タケショウ株式会社
住友電気工業株式会社
株式会社魚国総本社
東京海上日動火災保険株式会社
三岐通運株式会社
株式会社MINEZAWA
カリツ株式会社
高砂熱学工業株式会社
株式会社大気社
株式会社PEO
株式会社東郷製作所
エムサービス株式会社
ビューテック株式会社
太平洋工業株式会社
株式会社クリモト

株式会社メイドー
株式会社杉浦製作所
株式会社三五
中川産業株式会社
株式会社青山製作所
ニューライトサービス株式会社
株式会社セカイズ
愛知製鋼株式会社
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
株式会社ワイテック
株式会社コベルク
株式会社エムエス製作所
アスカ株式会社
日本ゼネラルフード株式会社
NTP名古屋トヨベツト株式会社
株式会社フジタ

株式会社ジャオス
岐阜車体工業株式会社
株式会社東海特装車
福岡トヨタ自動車株式会社
MOTUL Japan 株式会社
カシオ計算機株式会社
ブリッド株式会社
TBユニファッショ株式会社
株式会社アライヘルメット
エンケイ株式会社
株式会社エンドレスアドバンス
株式会社モンベル
シマツ株式会社
株式会社PEF



TLC オフィシャル
ウェブサイト



<https://www.toyota-body.co.jp/dakar/>



TLC オフィシャル
YouTube チャンネル



<https://www.youtube.com/@dakartlc2138>



TLC オフィシャル
Instagram



https://www.instagram.com/tlc_tab/

TLCの活動や映像など、
さまざまな情報を発信

**OFFICIAL
MEDIA**



TLC オフィシャル
Facebook



<https://m.facebook.com/TeamLandCruiser>